

「立山黒部」世界ブランド化推進会議

第2回会議

「海のあるスイス」先進地調査報告

平成29年10月20日

富 山 県

観光・交通・地域振興局

生活環境文化部

「海のあるスイス」先進地調査 概要

視察概要

- **視察の趣旨** 「立山黒部」の世界ブランド化に向けたプロジェクトや、DMOを中心とした戦略的な観光地域づくりを推進するため、宿泊・滞在環境、自然景観の保全、観光客の受入環境の整備などの先進的な取組状況を調査
- **視察日程** 平成29年8月7日～13日
- **メンバー**
 - 団長 石井 富山県知事
 - 副団長 高木 とやま観光推進機構会長
 - 団員 永崎 立山黒部貫光(株)専務取締役
 - 小橋 黒部峡谷鉄道(株)取締役社長ほか
 - 現地コーディネーター 山田 JTIC. SWISS代表
- **主な視察先**
 - ・ **ツェルマツ** (スイス)
 - ・ **スカイウェイ・モンテ・ピアンコ** (フランス・シャモニーとイタリア・クールマイユールを結ぶロープウェイ)

主な行程

日程	主な視察先
8月10日(木)	<ul style="list-style-type: none"> ○ ツェルマツ観光局幹部との意見交換 ○ ブルガーゲマインデ幹部との意見交換 ○ 現地視察 (ゴルナグラート鉄道、クムホテル、リッフェルアルリゾート)
11日(金)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 現地視察 (マッターホルン・グレーシャー・パラダイス) ○ スカイウェイ・モンテ・ピアンコ運営会社社長との意見交換
12日(土)	<ul style="list-style-type: none"> ○ スカイウェイ・モンテ・ピアンコ視察

(参考) 上記以外の日程概要

- ・8月8日(火) フランス・パリ 「世界で最も美しい湾クラブ」理事長等との面談
- ・8月9日(水) スイス・バーゼル バーゼル大学副学長や州政府首脳との懇談

行程図



ツェルマツの観光関係者幹部と



「海のあるスイス」先進地調査② ツェルマット～戦略的な観光地づくり～

世界トップレベルの山岳観光地 ツェルマット

- スイス・ヴァレー州に位置する**世界で最も名高い観光地**の一つ
- マッターホルン(4,478m)などアルプスの山々の登山口やスキージョーズとして知られる
- **人口は約5,700人**、ほぼ全ての産業が観光に依存
- 中心部の標高は約1,600m
- 年間宿泊者数は**約200万人**
〔うち、スイス人44%、ドイツ人9%、イギリス人6%
アメリカ人5%、**日本人3%**、フランス人2%〕

1日当たりの観光消費額	※1スイスフラン=115円として換算
スイス人	140スイスフラン (約1万6,000円)
イタリア人・フランス人	180スイスフラン (約2万円)
アメリカ人	270スイスフラン (約3万1,000円)
日本人	340スイスフラン (約3万9,000円)



ツェルマットのブランドメッセージ

**「Your best mountain experience ever
....and ever and ever again」**

あなたにとってこれまで最高の山の経験であり続ける



ツェルマット観光局

ツェルマット観光の主役として緊密に連携

ブルガーゲマインデ

【ツェルマット観光局の概要】

- ・ 主な業務は、マーケティングや観光客への情報提供
- ・ 財源は、宿泊者が支払う宿泊税と、事業者が支払う観光促進税
(宿泊税はインフォメーションセンターの整備・運営等、観光促進税はマーケティング等に充当)

●マーケティングの取り組み

従来の、国別/地域別のマーケティングに代わり**目的別のマーケティング**を採用し、**的確な商品開発**等に繋げる

- ①スポーツ・スキー
- ②トレッキング
- ③家族連れ
- ④マッターホルン
- ⑤マウンテンバイク
- ⑥国際会議等

●デジタル化への対応の取り組み

インターネットの普及により急速に進むデジタル化に、各観光事業者が適切に対応することが必要

⇒ **インターネットの効率的な活用方法を習得できるトレーニングツール「イー・フィットネス」を開発し、事業者**に提供

【ブルガーゲマインデの概要】

- ・ 住民主体の地域共同体。会員数は約1,500名(ツェルマット人口の約1/4)
- ・ 17世紀に、住民がお金を出し合って司教から買い取った土地を管理するために設立された団体で、現在も多くの土地を所有する

●観光関連事業への積極的な投資

ホテル、レストラン、ショップを運営するとともに、**ロープウェイ**など**観光事業への投資**も積極的に行う

●観光戦略会議への参画

ツェルマット全体の観光戦略を考える会議に、ブルガーゲマインデも参画し、**地域住民一体となった取組み**を推進



「海のあるスイス」先進地調査③ 上質で多様な宿泊施設

◎ クルムホテル

標高3,100m 3つ星

- 運営
マッターホルングループ
(ブルガー・ゲマインデの100%出資)
 - 部屋数 22室
(うちジュニアスイート2室)
 - 客室料 ジュニアスイート 1人1泊約3万円(12/12~4/17)
 - アクセス ツェルマットから鉄道で40分
- ホテルの魅力に加え、併設された施設にも、滞在の目的地となるための仕掛けが数多く用意されている



クルムホテル(山田桂一郎氏と)



◎ リッフェルアルプ・リゾート

標高 2,222m 5つ星

- 部屋数
70室(うちスイート5室)
- 客室料 スイート 1人1泊
約13万円(12/17~1/9)
- アクセス
ツェルマットから鉄道・専用トロッコで約25分



リッフェルアルプリゾート(訪問団と)

山岳ホテルでありながら、ハイエンド層に訴求する洗練度の高い施設や調度品、多彩なサービスが揃う



シンプルながらモダンで快適な室内
(写真は、ジュニアスイートルーム)

(出所)クルムホテルHP



3,000mの高地は思えない上質な料理とワインが楽しめるレストラン



(出所)リッフェルアルプリゾートHP

ホテルと駅の間は、専用のトロッコでアクセスが可能で、特別感を演出



レストランや、ピアノの生演奏のあるカフェ & バーなど多様な施設を備える



晴れた日にはオープンテラスから絶景を楽しむことができる

(出所)クルムホテルHP



ここでしか買えない限定グッズを販売するショッピングモール

◎ ツェルマット

標高 1,620m

高級志向の観光客を満足させるクオリティの高いホテルから、リーズナブルな価格のコンドミニアム(アパート)まで**多様な宿泊施設**が揃う

- ホテル数 約130
- アパート数 約1,500
- 年間延べ宿泊数 200万人泊



ツェルマット市街のホテルやコンドミニアム

「海のあるスイス」先進地調査④ 旅行者の満足度を高める様々な仕掛け

ゴルナーグラート鉄道



ツェルマットの街とゴルナーグラート展望台(3,089m)を約40分で結ぶ鉄道。車内では、日本語のアナウンスも流れる



山頂でのアクティビティを楽しむ人たちのために、バイクラック・スキーラックが設置されている

マッターホルン・グレーシャーパラダイス(3,883m)



山頂ターミナルの壁一面に設置されたソーラーパネルにより施設の電気が賄われている



ロープウェイのゴンドラ内部には、様々な国から訪れる観光客にもわかりやすいようピクトグラム表記が多用されている

ツェルマットの街



ツェルマットの街なかを走る電気自動車(ネジ1本からツェルマットの中で生産)

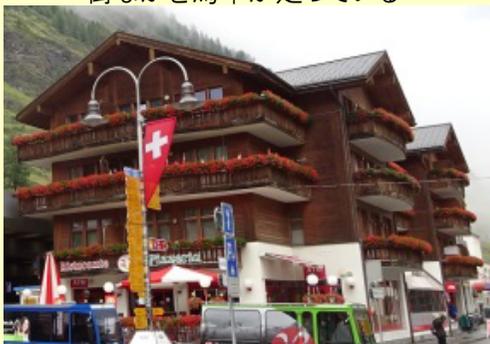


(出所)トリップアドバイザーHP

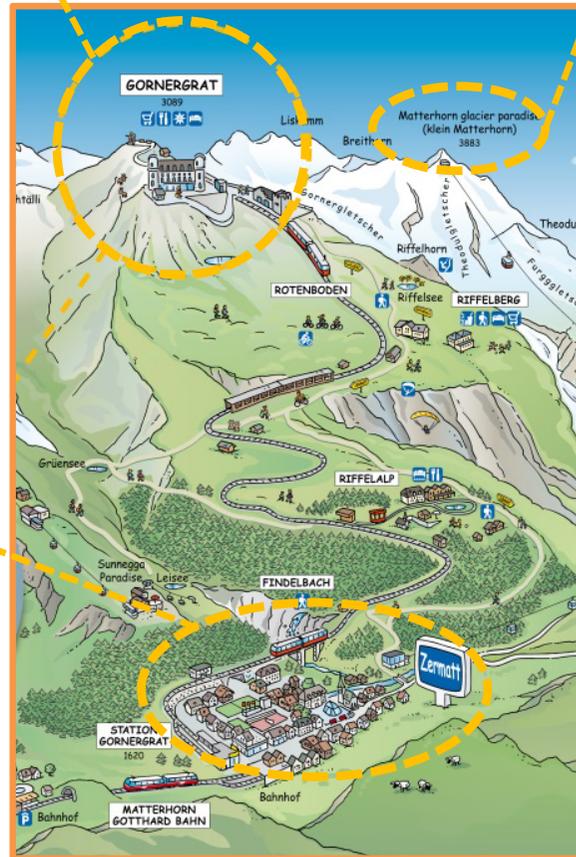
カーフリーのツェルマットでは、街なかを馬車が走っている



放牧地間を移動する羊の群れが観光客を楽しませる(右側後方)



奥側の通り沿いの建物の窓辺には花が飾られている



「ここでしか買えない」魅力的な商品が並ぶショップは多くの観光客で賑わう

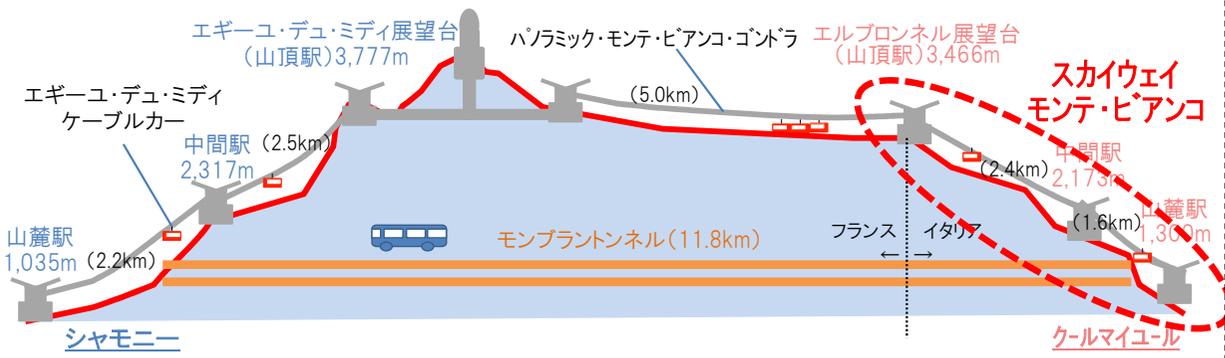


有料トイレ(2スイスフラン)のレシートは、ショップで同額分のバウチャーとして使用可

「海のあるスイス」先進地調査⑤ スカイウェイ・モンテ・ビアンコ～世界最先端の技術・デザイン～

【スカイウェイ・モンテ・ビアンコ 概要】

- ・ 2015年5月にオープンしたロープウェイ。標高1,300m～3,466mを約15分で結ぶ
- ・ アルプスを越え、シャモニー(フランス)とクールマイユール(イタリア)を結ぶルートの一部を構成
- ・ 2016年の利用者数は約27万人
- ・ 総建設費は約1.4億ユーロ(約185億円)



運営会社(モンテビアンコ・ロープウェイ社)社長との懇談

スカイウェイ・モンテ・ビアンコを運営するモンテビアンコ・ロープウェイ社のフランチェスコ・コーニ社長との懇談し、ロープウェイの特徴等についてヒアリング

○最先端の技術を注ぎ込んだロープウェイ

- (1)ゴンドラには床暖房を設置して凍結を防止
- (2)ゴンドラの窓には特殊なガラスを用いて曇らないようにしている
- (3)山頂駅付近に水の浄化設備を設置し、環境汚染は生じない など

○ゴンドラは360° ガラス張りであり、運行中に1回転

し、どの位置からも眺望が良いように工夫

○大きなゴンドラ(定員約80人)で、運転中も

ゆれが非常に少なく、乗降時もターミナル駅との間に段差が無い

○3重の電源など安全確保に十分配慮

(オープン以降、運行停止なし)



モンテビアンコ・ロープウェイ社のフランチェスコ・コーニ社長との懇談

ロープウェイ視察



360° ガラス張りで運行中に1回転するゴンドラ



山頂駅の展望台「360° テラス」



スカイウェイ・モンテ・ビアンコと名峰モンブランを望む(中間駅)



中間駅に設置されている子供向けの遊び場



中間駅の映画館企業が新製品発表に使うことも



中間駅のショッピングエリア(限定グッズを販売)